

親睦研修旅行の旅(前号からの続き)

前号に引き続き、網走地区滝上分会(小谷孝一分会長)の親睦研修旅行について紹介します。

前回(Spanish)

九月十四日、身体障害者滝上分会の会員参加者二十三名の期待と楽しみに、一路、定山溪へと出発。途中、「滝野すずらん丘陵公園」を見学したり、ゆるやかな登り道を歩いて全景を満喫。午後四時には定山溪に到着。和やかに夕食の宴、賑かな宴会を終える。旅行二日目は、今回の旅の第一の目的地「藻岩山慰霊碑」戦没者のお参りの墓誌の前に立つ。激戦地沖繩で戦死したわが町出身者が四十一名祀られ、今回の旅行者の中には、血縁又は知人の名が刻まれている。幾度も撫でさすって、現在の平和の礎となった方々に心から祈りを捧げた。昼食は「アサヒビール園」へ。ほんのり頬を染めた人も皆で二時半には北海

道庁及び赤レンガ記念館を見学です。



札幌アサヒビール園見学後

清水美知江さんの感想文(続)

総務課片山様の案内にて説明して頂き議場見学しました。この広い重々しい雰囲気の場合に決められ、豊かな北海道となるべく、知事様又議員の人達が議案を進めて行くのだと、少し緊張を感じました。知事席にふれ

て見たり、記憶の人の席に座ったりしてお話を聞きました。次に秘書室次長の大川様のお話の中に、網走管内より四名の議長が選出された由、現二十七代石井孝一議長様の名刺を頂き、応接間、議長室を見学し、登りの急な階段を経て二階の展示室へ入ると、各国の土産物等がまた飾られていました。日程の都合により当初の予定の議会見学は果たされず残念でしたが、



道庁赤レンガ前にて

種々学ぶことが多くあり、代表の方々の今後の御活躍を念じながら、赤レンガ前にて記念撮影

を終え二泊目の山溪苑へと向かいました。盛り沢山なる知識を貪欲にメモし頭に詰め込んだはずの旅も、夜のくつろぎとなると賑やか下戸なる私もたのしい一夜を過ごしました。

三日目の朝里温泉に向う途中の景色は、早くも黄葉を見せ芒穂の揺れも見られました。途中、二ヶ所のダムが有り、螺旋状の道は最新の技術を駆使した方法かと、又長い路のかたへの絶景に驚きながら再度訪れることもなからうと記憶にとどめながら、小樽へと。小樽でかの有名な「北一ガラス」また「かま栄」にて土産を調達する人あり。

砂川にて昼食のあと一路帰途につきました。旅行の車中、加藤さんの雄弁と博識に盛り上がり、たのしい行程でしたが、今回の旅行を企画された小谷分会長その他の役員の方々に感謝申し上げ、また来年も元気で旅が出来るように、私たちで出来ることは頑張って資金の調達の一環でもと思つて話し合い、帰宅致しました。